

## 【周防大島町】

### 1人1台端末の利活用に係る計画

#### 1 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現をめざす学びの姿

1人1台端末及び通信ネットワークの整備を進め、適切なICT環境を整えることにより、「個別最適な学び」及び「協働的な学び」が一体的に実現され、児童生徒の学習意欲の向上及び主体的に学習に取り組み、児童生徒一人ひとりが、自身の良さや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるような学びの姿をめざしていく。

#### 2 GIGA第1期の総括

本町では、平成27年度からiPadを児童生徒へ配付を始め、令和2年度以降大容量の通信ネットワークを整備するなど、ICT環境の充実に取り組んできた。児童生徒の学習ツールとしてミライシードを導入し、デジタルドリルを課題学習に活用したり、授業において発表ツールに利用したりしている。iPadを活用することで「手を挙げて発表することが億劫だった児童がiPadを通してたくさん意見を発言するようになった」「デジタルドリルで繰り返し学習するようになった」という好事例が学校から寄せられている。

今後の課題として、端末の使用頻度による差が見られ、特に児童生徒のタイピング能力の差が見受け取られる。本町では、GIGA第2期におけるICT端末の検討をしており、キーボード付き端末を配付することでタイピング能力の向上を図りたい。

教員のICT活用については端末を扱える能力が教員個々で開きが生まれている。ICT機器を授業に組み込むことで、教員自身が児童生徒に操作を教えられるほどの自信がないとの相談も寄せられていた。現在も教育委員会主導で活用促進研修を行っており、ICT支援員の補助を交えながら苦手意識を解消し、教員も含めてICT教育のレベルアップを図っていく。

#### 3 1人1台端末の利活用方策

本町では、ICT環境を平成27年から整備を始め、GIGA第1期における成果を上げてきた。今後は、社会全体のDXが加速することを踏まえて、教育データやクラウド環境の活用による児童生徒一人ひとりにあった学びの支援や校務のデジタ

ル化を促進していきたい。

そのためにも、端末の整備・更新を確実に行之、児童生徒の1人1台端末の環境を引き続き維持していくことが重要であり、上記の課題解消に向けた取組として、以下の方策を推進していく。

(1) 一人ひとりに合った学びの充実のために

本町においては、令和2年3月と令和5年3月に実施した、学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果を比較すると、教員のICT活用指導力が約11%向上している。これは、GIGA第1期において、教員のキャリアステージやニーズに応じた教員研修の充実や好事例の共有等の取組の成果と捉えている。今後も、児童生徒の情報活用能力の育成に向けた教職員のICT活用指導力の向上や生成AIの利活用等の新たな教育活動の実施に対応できるよう、「毎年度ICT研修を受講する教員の割合」を増加させていきたい。また、教員の資質・能力の向上により、端末の日常的な活用が「児童生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面」や「児童生徒同士がやりとりをする場面」等で進むことで、「児童生徒が自分の特性や学習の理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の割合」の向上を図っていきたい。

具体的には、以下のような取組を展開する。

- ・ICTを活用した授業活用例の共有。
- ・生成AIの利活用に関する教員研修の実施。
- ・小・中学校における1人1台端末の活用事例の共有。

(2) 安心・安全で一人ひとりを大切にしたい学びの充実のために

本町では、「誰一人取り残されることがない教育の推進」として、不登校児童生徒に対する1人1台端末を活用した授業配信による学習支援やスクールカウンセラー等による相談、カウンセリングをオンラインで行うなど、ICT機器を効果的に活用した支援を行うこととしている。児童生徒の学び方が多様化する中で、今後も1人1台端末の効果的な活用方法を検討しながら、「希望する不登校児童生徒等へ端末を活用した授業への参加・視聴の機会を提供している学校の割合」を100%としていきたい。

また、個々の発達の段階に応じて、デジタル教材等を活用することで、「障害のある児童生徒や病気療養児等、特別な支援を要する児童生徒の実態等に応じて端末を活用した支援を実施している学校の割合」を100%となるようにしたい。

具体的には、以下のような取組を展開する。

- ・不登校や障害のある児童生徒等へのオンラインを活用した指導の充実。
- ・児童生徒の発達段階に応じた I C T の利活用方法についての研修の実施。